

平成29年6月1日

関係各位

岡山県立早島支援学校長

平成29年度 早島支援学校公開講座のご案内

時下、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、本校では特別支援教育におけるセンター的役割の充実を目指して、特別支援教育に関係される方々を対象に、夏季休業中に2回の公開講座を開催いたします。
つきましては、多くの方々のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

○対象 本校関係エリアの保育園、認定子ども園、幼稚園、小・中学校及び高等学校の教職員、特別支援学校の教職員及び本校教職員

○日時及び研修内容

【第1回公開講座】

<日時> 7月31日(月) 13:00~15:00(受付12:30~)

<場所> 岡山県立早島支援学校 体育館

<テーマ> 『自分も相手も大切にするかわり』

～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～』

<講師> 昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授 副島 賢和 先生

<内容> 病気の子どもたちは周囲の人に心配や迷惑をかけていることを気にして、自分をダメな人間だとか役に立たない存在と考えがちです。ケガや病気で入院する子どもが負った心の傷は、大人が考えている以上に深いです。けれども、入院中でも楽しい時間は過ごせるし、新しいことに挑戦することもできます。副島先生は、院内学級の子どもたちの心に向き合い、傷ついた心のケアに取り組んで来られました。副島先生と一緒に、「自分も相手も大切にするとはどのようなことなのか」考えていきましょう。ぜひご参加ください。



【第2回公開講座】

<日時> 8月25日(金) 13:30~15:30(受付13:00~)

<場所> 早島町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール(1階)

<テーマ> 『発達を学び、子ども理解を深める』

<講師> 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 木下 孝司 先生

<内容> 子どもたちとの日々の実践の中で、悩むことは多いです。子どものことが分かったつもりになったとたんに、また分からなくなります。子ども理解を深めていくためには、どのような視点を持ち、子どもとどう向き合っていけばよいのでしょうか。木下先生は、この問いについて、私達と一緒に悩まれながら応えてくださると思います。「子どもを理解するとはどのようなことなのか」「子どもの心に寄り添うとは、どのようなことなのか」ということが、心の底から感じられる講座になるとと思います。ぜひご参加ください。



○申し込み (※参加費無料です)

所定の様式により、メールに添付してお申し込みください。(メールできない場合FAXも可です)

<送付先> 岡山県立早島支援学校 支援係 宛(担当:額田・原田・近藤・大橋)

メールアドレス hayasima03@pref.okayama.jp

TEL 086-482-2131 ・ FAX 086-482-2130

○申し込み期限 7月14日(金)

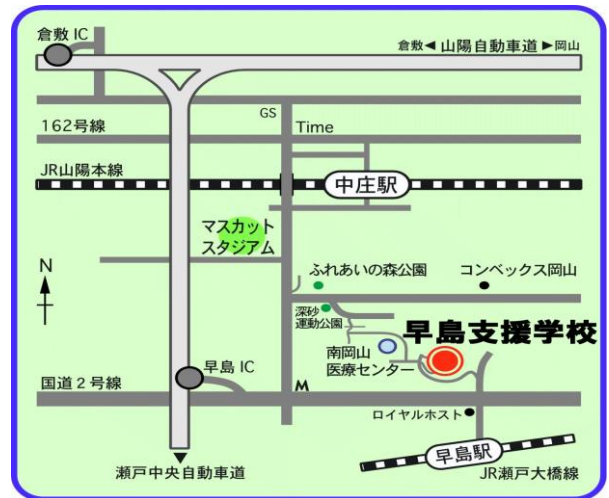
申し込み後に欠席されることになった場合は、本校(額田)までご連絡ください。



○第1回公開講座会場

岡山県立早島支援学校 体育館
岡山県都窪郡早島町早島4063
(086-482-2131)

(参考) JR瀬戸大橋線・宇野線「早島」駅から
タクシー約8分
JR山陽本線「中庄」駅からタクシー
約10分



☆お車で同一校から複数参加の場合は乗り合わせ等のご協力をお願い致します。校内一方通行です。

○第2回公開講座会場

早島町町民総合会館「ゆるびの舎」
文化ホール（1階）
岡山県都窪郡早島町前潟370-1
(086-482-4800)

(参考) JR瀬戸大橋線・宇野線「早島駅」
より徒歩10分
両備バス 早倉線「早島中銀前」
より徒歩10分



☆駐車場に限りがあります。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。お車で同一校から複数参加の場合は乗り合わせ等のご協力をお願い致します。「ゆるびの舎」の駐車場が満車の場合は、早島小学校のグランド駐車場を利用させていただきます。各駐車場とも混み合うことが予想されます。できるだけ早めにお越しください。駐車場は、講演の1時間前から、駐車場係が誘導します。

